

平成20年9月1日

保護者様

横浜市立鶴見小学校

校長 土屋尊生

横浜市学習状況調査結果についてのお知らせ

平成20年2月14、15日に行われた学習状況調査についての調査結果をお知らせします。この調査結果を踏まえ、鶴見小学校では授業の改善に取り組んでまいります。

本校の児童の特徴と傾向

- | | |
|--------|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none">・漢字の読み・書きに意欲を持って取り組み、定着しつつあるが個人差が大きい。・物語や説明文を文に即して丁寧に読んだり、場面の状況や登場人物の気持ちを像しながら読みとったりすることが苦手な児童が多い・表記や語句に関する理解が十分とは言えない。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none">・知識・理解の分野の面でよくできているが、資料の読み取りや資料の活用・表現については課題が残る。・既習事項を実生活に活用する力が、十分とは言えない。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none">・表現・処理の力は学年により、また個人により大きな差がある。・既習事項を生かし、見方を変えたり、問題解決したりすることが苦手な児童が多い。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none">・知識・理解の分野では、学習したことをよく理解している項目が多い。・科学的な思考・判断の分野では、実験や観察から得られた結果から、規則性や関連性を見つけ、法則化していくことが不十分である。 |
| 生活状況調査 | <ul style="list-style-type: none">・勉強が好きだ。また、勉強は必要だと考えている児童が多い。・朝食をきちんと食べる児童は多いが、就寝時間のおそい児童もいる。・家庭学習ではテストのために勉強する児童が多く、自分の好きなことや知りたいたいことを自主的に学習する児童が少ない。・授業以外の読書量は少ない。・自分の思ったことや考えたことを進んで話したり、書いたりしようとする児童の割合が少ない。 |

本校児童の課題と改善のための具体策

- | | |
|----|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none">・「漢字検定」や「帯時間学習」を利用し、引き続き漢字の読み書きの充実を図る。・文章にふれる機会を多く取り入れるとともに、文に即して丁寧に読み進め、想像したり、読み深めたりする活動を多くする。また、その内容をもとに話し合う活動を取り入れる機会を作る。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none">・自分の身の回りの出来事に関心を持たせ、学習したことを実生活の中で結びつけ、生かせるようにする。・様々な資料に触れ、考察する学習を増やすとともに、考察したことをもとに話し合ったり、発表したりする活動を取り入れる。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none">・基礎的な計算の力が十分でない所は「帯時間学習」の内容を改善したり、家庭学習の定着を奨励したりして、しっかりと身に付くようにする。・問題解決の場面では具体的操作活動を多く取り入れるとともに、自力解決の時間を保障する。・児童の実態に合わせ、T・Tとの打ち合わせを十分に行い、より効果的な指導を工夫する。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none">・引き続き「観察・実験の記録」を丁寧に的確に行えるようにする。・資料や実験・観察の記録をもとにわかることだけでなく、規則性や一般性を見いだす活動を大切にする。・実験器具の正しい使い方を身につけられるようにする。 |

今後の取り組みの重点

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">○各教科の基礎・基本の定着を図ることにさらに努力します。○体験活動を多く取り入れ、実生活に基づいた学習を展開します。○操作活動や読み取り活動にじっくり取り組み、自分の考えをもつ過程を大切にします。○自分の考えや調べたことをもとに話し合う共同思考の場を作ります。 |
|---|